

事業所名

NPO法人チャイルドサポートきくち
こども発達支援センターえるびあさード

支援プログラム (参考様式)

作成日

8

年

1

月

1

日

法人(事業所)理念		「こどもを通して社会貢献を行う」						
支援方針		私たちは、すべての子どもが安心して成長し、自分らしく生きられる社会の実現を目指します。児童発達支援を通じて、一人ひとりの個性や可能性を大切に、適切なサポートを提供することで、未来を担う子どもたちが自信を持ち、社会とつながる力を育みます。 また、家族への支援を充実させることで、子どもを取り巻く環境をより良いものとし、地域全体で子どもを支える仕組みを構築します。地域社会との連携を深め、すべての人が支え合い、共に生きる社会の創造に貢献します。 私たちは、子どもたちの成長を支えることが、社会全体の未来を豊かにする第一歩であると考え、福祉・教育・地域との協力を大切にしながら、持続可能な社会づくりに取り組みます						
営業時間		平日	10時00分	から	19時00分	まで	送迎実施の有無	あり
		学校休業日	8時30分	から	17時30分	まで		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	生活リズムの安定: 睡眠・食事・排泄の習慣づけ、視覚支援でのスケジュール管理 身の回りのことの練習: 着替えや荷物整理、手洗い、歯磨きの習慣化 食事マナーの習得: 適切な姿勢、食具の使い方、食事中の会話ルール 安全管理: 交通ルールの理解、不審者対応、防災訓練の実施						
	運動・感覚	基本的な運動能力の向上: ボール遊び、跳び箱、なわとび、ストレッチ バランス感覚の発達: 平均台、トランポリン、一本橋歩き 感覚統合の支援: 砂遊び、水遊び、粘土遊び、ふわふわマットでの運動 リトミックやダンス: 音楽に合わせた体の動かし方、リズム感の習得						
	認知・行動	指示理解の向上: シンプルな指示から順番に、視覚支援を活用 ワーキングメモリの強化: しりとり、カードゲーム、パズル 問題解決能力の育成: トラブルが起きた際の対処法を一緒に考える 自己コントロール: 「怒ったときは深呼吸」「言葉で気持ちを伝える練習」						
	言語コミュニケーション	語彙の増加: 絵カードを使った遊び、読み聞かせ、日記や感想を書く活動 非言語コミュニケーション: アイコンタクト、ジェスチャー、表情のトレーニング ロールプレイ: お店屋さんごっこ、電話の練習、感謝の言葉を伝える場面設定 意見を伝える練習: 「好きな遊びを発表」「今日の楽しかったことを話す」						
	人間関係社会性	ルールの理解と遵守: すごろく、トランプ、鬼ごっこなど遊びの中で学ぶ 協力する経験を増やす: グループ活動、共同制作、チーム競技 トラブル対応: 「貸して」「いいよ」などの練習、気持ちを伝える練習 相手の気持ちを考える: 絵本の読み聞かせ、気持ちカードを使ったやりとり						
家族支援		保護者との信頼関係を築き、家庭での子育てを支えるために、定期的な面談や連絡帳を活用し、子どもの成長や課題を共有します。育児相談会やペアレントトレーニングを実施し、適切な対応方法を学ぶ機会を提供します。				移行支援		小学校や中学校、就労への移行を円滑にするため、関係機関と連携しながら、必要なスキルを育成します。生活習慣やコミュニケーション能力の向上を支援し、職場体験や実習の機会を提供します。保護者とも協力し、進路選択をサポートします。
地域支援・地域連携		地域の学校・医療機関・福祉サービスと連携し、支援体制を強化します。地域イベントやボランティア活動に参加する機会を作り、社会とのつながりを広げます。障害理解を深める啓発活動を行い、共生社会の実現を目指します。				職員の質の向上		職員の専門性を高めるために、定期的な研修や勉強会を実施し、最新の療育方法や支援技術を学ぶ機会を設けます。また、OJTを活用し、経験豊富な職員が新人を指導することで、実践的な対応力を強化します。 支援の質を高めるために、ケース会議や情報共有を徹底し、職員同士の意見交換を活発に行います。さらに、保護者や地域と連携し、支援の工夫や地域資源の活用を進めます。また、適切な業務分担やメンタルケアを行い、働きやすい環境を整えることで、職員のモチベーションを維持し、継続的な支援の質向上につなげます。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事(初詣、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等) ・えるとも会(保護者交流、保護者向け研修、茶話会等): 2、3ヶ月に1回 ・地域との収穫祭(人参堀・大根堀) 						